

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町議会教育民生常任委員会



令和 元年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	令和 元年 11月25日(月)～27日(水)	
2	研修地	島根県邑南町・広島県尾道市・岡山県矢掛町	
3	研修内容	(内 容)	
		(1) 邑南町：日本一の子育て村事業について	(場 所)
		(2) 尾道市：NPO 天かける	
		(3) 矢掛町：健康対策について	
		(4) まとめ	
4	研修結果 又は概要 (意見・ 感想)	(1) 邑南町：日本一の子育て村事業について 保育料の無償化が6年前から実施されていた。子どもの体調不良時は民間病院の託児が可、また回復期には保育園でも常勤の看護師が配置され保護者は安心して子どもを預けて働ける体制が整えられていた。 出産時の緊急医療対策としては要請から20分でDr.ヘリ搬送の体制が整備されており出産から育児までの隙間無い医療・保育体制が整備されていた。進学時の奨学金制度においては町内への就職に繋がるように町内での自営業経営や町内就職者については学資の一部や全額免除の仕組みが作られていた。 移住希望者の仕事面でも大手誘致企業や、病院関係、農業などへの紹介など、仕事が決まってからの移住。仕事から生活の面も含めて地域でサポートされ、地元の集落、自治会への参加などと深い付き合いがあるのが特徴的であった。	
		(2) 尾道市：ICTで繋がる医療と介護(NPO 天かける) 医師会に所属する1人の医師の声掛けにより患者1人の情報(カルテ)を皆で共有することによって情報、バイタル、服薬、既往歴などが情報共有されていた。なかでも処方箋の共有では服薬の重複や類似薬の削減に繋がりがり医療費個人負担の直接削減にもつながった。 まだまだ賛同施設や団体は100%ではないけれど尾道市はこの方法で医療費1,200万円の削減に繋がった。コスト面においても現存のサーバーを利用し大きな支出は見られなかった。 まだまだ医師会の一部のメンバー間での共有だが小さな点がたくさんでき面が変われば大きく医療費に関わってくる。	

4	調査結果 又は概要 (意見・ 感想)	<p>(3) 矢掛町：健康対策について</p> <p>健康づくり係を中心として、住民の健康管理や生活習慣病対策、高齢者の見守りに各集落の愛育委員と一緒に取り組んでいる。</p> <p>健康対策に対する町営施設の充実も素晴らしく、現、山野町長が職員時代に「これからは高齢者と健康対策の時代が来る」と、何度も東京に足を運び、県内初の温水プールの誘致が実現された。</p> <p>またトレーニングマシンが設置されたトレーニングルームを作り、使用料も1回100円と低価格で利用数も多い。運動指導員によって、生活習慣病予防の各種コースの教室や身体測定、体力測定、そして評価まで行っている。健康対策メニューには、専門員をそれぞれ置き充実させている。多くの町民を巻き込み、年間4万人と町民人口の約3倍にあたる人が利用している。町民はもとより近隣の市民の健康維持・増進と介護予防に大いに寄与し、参考にすべき点が多いと感じた。</p> <p>健診率向上対策にしても、愛育委員が一人一人に健診票を手渡し、その必要性を説明し勧奨している。愛育委員や栄養委員を置き有効な活動を展開し効果の上がる方法である。</p>
		<p>(4) まとめ</p> <p>今回、子育て支援、ICTで繋がる医療と介護、健康対策のテーマで視察研修を行った。</p> <p>邑南町の子育て支援においては支援を受ける側と地域住民、行政の三者の連携、そして、支援を受けて成長後に帰町する仕組みまでを、尾道市のICTでは薬剤師会、医師会をはじめ多くの関連事業者が連携を、矢掛町の健康対策では地域住民と愛育委員、行政との連携とされていた。町をあげての健康づくりをしている様子がうかがえた。</p> <p>何処もピンポイントの支援ではなく、しっかりとつなげる施策であった。</p> <p>大山町もさまざまな活動がなされているが、まだまだ参考にすべき点がたくさんあったように思う。</p>